婦人科の手術（開腹術）を受けられる方へ（B）

月日（日時）	／	／		／	／	／	／
経過（病日等）	手術前日	手術当日（手術前）	手術当日（手術後）	手術後１日目	手術後２日目	手術後３日目	手術後４日目以降
	・安心して手術に臨めるように、手術の目的・内容を理解しましょう。 ・手術に向けて以下の準備をしましょう。	・手術に向けて以下の準備をしましょう。	・手術後の安静を守りましょう。 ・手術後の痛みや吐き気などがおつらい場合にはお知らせください。	・痛みの具合をみながら、少しずつ歩く練習をしましょう。 ・便秘が続く場合はお知らせください。	・痛みの具合をみながら、活動量を徐々に増やしましょう。	・手術後の合併症を抑えられるように、活動量を増やしましょう。	・手術後の合併症を抑えられるように、活動量を増やしましょう。 ・退院後の生活について理解を深めましょう。
点滴	・16 時に点滴を開始します。						
薬	・現在内服している薬を確認します。 ・医師の指示のもと、１４時から下剤の内服を開始します。19 時と 21 時に排泄状況の確認を行います。	・朝の内服に関して □手術前日の就寝前の内服以降、内服をしないでください。 □（　　）時に（　　）を少量の水でお飲みください。		・痛みが強いときは痛み止めがありますのでお知らせください。			
検査				・血液検査があります。			・血液検査があります。
処置	・感染予防のために膣の掃除と必要な範囲の除毛の確認をします。	・排泄状況を確認し、必要時は浣腸を行ないます。 ・手術着に着替えて弾性ストッキングをはきます。	・足に血栓予防のためのフットポンプ（ふくらはぎのマッサージ器）が付きます。 ・酸素吸入は翌日の朝まで行います。 ・背中に痛み止めの管が入っています。		・背中の痛み止めの管を抜きます。		・医師が創部のチェックをします。 ・診察があります。 （手術後５日目以降）
活動 安静度	・制限はありません。 ・手術に備えてゆっくりお休みください。		・ベッド上安静になります。 ・寝返りはできます。	・トイレ歩行が可能です。	・制限はありません。		
食事	・食事療法をされている方、アレルギーがある方はお知らせください。 ・昼は流動食になります。 ・夕食から禁食、24 時からは禁飲食となります。	・食事や飲水はできません。 	・食事や飲水はできません。 	・飲水を開始します。（初回の飲水は看護師が付添います） ・昼から五分粥食、夕から全粥食を提供します。	・朝から常食を提供します。		
清潔	・点滴が始まる前にシャワー浴ができます。	・シャワー浴はできません。 ・うがいや歯磨きは手術直前までできます。	・うがいができます。 ・顔を拭くためのタオルをお持ちします。	・シャワー浴はできません。 ・身体を拭くための温かいタオルをお持ちします。	・主治医の許可が出ればシャワー浴が可能となります。		
排泄		・手術前にトイレをすませてください。	・手術後は尿管留置カテーテルが入っています。	・尿管留置カテーテルを抜いた後の排尿状態を看護師が確認しますのでお知らせください。			
説明 生活指導	・手首にリストバンドをつけます。 ・入院生活について説明します。 ・手術の一連の流れについて説明します。 ・手術に関する同意書を確認します。 ・手術に必要な物品を確認します。 ・売店で【入院備品セット E】をご購入ください。 ・手術中の顔色や爪色の観察のため、化粧やネイルカラー/ネイルアートは落としてください。 ・手術後に使用するコップ、ストロー、寝衣、下着、ナプキンの確認をします。	・手首にリストバンドがついていることを確認してください。 ・「手術を安全に受けていただくためにご協力ください」のチェックリストに沿って確認します。 ・手術室へ出発するときは、時計、義歯、湿布、指輪、ネックレス、ピアス（アクセサリー）、ヘアピン、眼鏡、コンタクトレンズ、ウィッグ等を外します。 ・髪が肩につく方はゴムで２つにまとめてください。 ・ベッド上には私物を置かないでください。 ・テーブルには必要物品以外は置かないでください。	・手術室の説明室で主治医からご家族に手術について説明があります。手術室から連絡がありましたら看護師がお知らせしますので、それまでは病棟のラウンジで待機してください。 ・痛みが強いときは痛み止めがありますのでお知らせください。				・退院後の生活の注意点を別紙で説明します。

※治療・経過については、現時点で考えられるものであり、今後検査・治療経過によって変更になる場合があります。

※入院期間については現時点で予測される期間です。

2022 年 9 月改訂

日本赤十字社医療センター
Japanese Red Cross Medical Center